



# 日耳鼻医会 FAXニュース

平成27年4月9日発行 第224号

## 日本耳鼻咽喉科医会第40回臨床家フォーラム 「かごしまフォーラム2015」ご案内 — 広げよう耳鼻科診療の幅 ともにスキルアップ —



期日：7月19日(日)・20日(月・祝)  
会場：鹿児島県市町村自治会館  
レンブラントホテル鹿児島  
参加登録費(会員) 15,000円  
懇親会 会 員 8,000円  
家族・職員 4,000円

※職員等スキルアップ講座 無料

### プログラム

7月19日(日)分科会 14:00～(自治会館ホール)

- 1) 認知症と嗅覚障害 アロマセラピー
  - 2) 明日から出来る超簡単禁煙治療—「禁煙するなら耳鼻科」を目指して
  - 3) 患者トラブルの最近の特徴と対処法
  - 4) 社会保障財源の見通しと医療経営への影響
- 職員等スキルアップ講座 14:30～(自治会館会議室401)
- 1) 患者満足度を高めるためのコミュニケーション力アップ
  - 2) 接遇を意識した「見た目」の整え方～医療従事者としての整容

\* 懇親会 19:00～ レンブラントホテル鹿児島

7月20日(月・祝)全体集会

9:00～ レンブラントホテル鹿児島

- 1) 扁桃に関する最近の知識
- 2) 5000年前の男：Mr.アイスマンに学ぶ現代病の予防と治療作戦
- 3) 焼酎にみる風土と風味

従来職員を対象に行っていた聴力検査講習会はありません。代わりに職員・会員家族のスキルアップを目的に接遇やメイクに関する講座を設けました。職員等研修としてご活用下さい。

フォーラム案内冊子は4月末発送予定です。多数の参加をお待ちしております。なお、宿泊・観光ツアーは既にご案内可能ですので、☎099-257-7080 JTB総合提携店(株)全日本旅行センター(フォーラム担当：玉井、大迫、矢神)へお問い合わせ下さい。

### ■好酸球性副鼻腔炎、指定難病に

厚労省の厚生科学審議会・疾病対策部会の指定難病検討委員会は3月9日、好酸球性副鼻腔炎(患者数約2万人)など44疾病について、医療費助成の対象となる指定難病(第2次分)の要件を満たすと判断。がんは別の施策で対応されていることから、指定難病の対象外とした。

平成27年1月からの難病にかかる新たな医療費助成制度では、知事の指定を受けた「指定医」が、難病の患者に対する医療費助成の申請に必要な治療意見書(臨床調査個人票)を作製することになる。

#### ◆難病指定医の要件◆

診断または治療に5年以上従事した経験を有する者のうち次のいずれかに該当する者 1)学会が認定する専門医の資格を有する者 2)県知事が行う研修を終了している者(以下略) ◆留意事項：指定医は5年ごとに指定の更新を受ける必要がある。

### ■子供の誤飲、薬が最多

厚労省は3月31日、家庭での子供の誤飲事故に関する2013年度の病院モニター報告で531件(前年度比146件増)の事例が寄せられ、医薬品や医薬部外品を誤飲したケースが96件(同39件増)で最多だったと発表した。死亡などの重篤事例はなかった。

報告制度が始まった1979年度以来トップだった「たばこ」の誤飲は2013年度94件で、薬が初めて「たばこ」を上回った。具体例としては、3才男児がタンスの上にあった抗てんかん薬の錠剤をお菓子と間違えて食べ、ふらつくなどして病院を受診した例、1才7ヶ月の男児が母親のバッグから風邪薬を取り出して14錠ほど食べ、軽い喘息の症状が出た例があった。

厚労省は「細心の注意をして欲しい」としている。

### ■高齢者の使用中止求める薬約50種のリスト公表

日本老年医学会は4月1日、高齢者が使った場合に副作用が多く、使用中止を考慮すべきだとする約50種類の薬を示したリストを公表した。

2005年に作成された指針「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」の改定案に盛り込まれた。指針の見直しは初めてで、24日まで一般から意見を募る。

高齢者の使用中止を考慮する薬について、05年の指針では「特に慎重な投与を要する薬物のリスト」としていたが、改定案では「ストップ」と明確な表現に変更した。使用を推奨する薬のリスト「スタート」を新設し、約20種類を挙げた。ストップリストには、認知症の患者に投与すると脳

血管障害などの可能性を高めるとして「抗精神病薬全般」と掲載。睡眠薬や一部の胃薬も認知機能の低下を招くとした。リストは、代替薬や、適切な使用量、使用期間なども示している。

改定案作成グループの代表を務めた秋下雅弘(あきした・まさひろ)東京大教授は「リストは数千の文献から集めた確度の高い情報を基に作った」と話す。一方で「患者の判断で薬の使用を中止すると急激に病状が悪化して命に関わる可能性がある。まず医師や薬剤師に相談してほしい」と注意を呼び掛けた。

### ■障害年金の障害認定基準の一部を改正

年金局事業管理課給付事業室  
平成27年6月1日から、障害認定基準のうち「聴覚の障害」等の基準を改正。新たに1級の障害年金を請求する場合、他覚的聴力検査などを行うこととした。認定要領は以下の通り。

聴力レベルは、オージオメータ(JIS規格又はこれに準ずる標準オージオメータ)によって測定するものとする。ただし、聴覚の障害により障害年金を受給していない者に対し、1級に該当する診断を行う場合には、オージオメータによる検査に加えて、聴性脳幹反応検査等の他覚的聴力検査又はそれに相当する検査を実施する。また、その結果を診断書に記載し、記録データのコピー等を提出(添付)するものとする。



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと  
Do more, feel better, live longer

### 定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意—医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

# アラミスト® 点鼻液27.5μg 56噴霧用

Allermist® 27.5μg 56metered Nasal Spray フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先  
TEL: 0120-561-007(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)  
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル FAX: 0120-561-047(24時間受付)

2010.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会  
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F  
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228  
HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail [jimu@jenti.or.jp](mailto:jimu@jenti.or.jp)  
当会への要望・意見・相談をお寄せ下さい